

中学歴史プリント（書き取り）
昭和時代（戦後）

名前

得点

/20

- 問1 1955年にアジア・アフリカ会議が開催された、インドネシアの都市はどこ？
- 問2 1955年、保守的な政党が合流して結成され、以降長く政権を担うことになった日本の政党を何という？
- 問3 1951年のサンフランシスコ平和条約に全権として調印し、戦後の日本の国際社会復帰を導いた首相は誰？
- 問4 1947年に実施され、引揚者の帰還などにより戦後直後の日本国内で急増した人々の数を把握するために行われた調査を何という？
- 問5 ベトナム戦争を背景に、東南アジア諸国の協力と経済発展を目指して1967年に結成された組織を何という？
- 問6 日本が輸出を拡大する中で、輸出額が輸入額を大きく上回り、経済的対立の要因となった状態を何という？
- 問7 公害問題など環境保全に関する行政を一元的に担当するために1971年に設置され、現在は環境省の前身となった中央省庁を何という？
- 問8 朝鮮戦争の際に日本へ大量の軍需物資を発注し、特需景気をもたらした組織は何か？
- 問9 第二次世界大戦後、植民地支配から独立し、新たに国際社会の一員として歩み出した国々を総称して何という？
- 問10 1973年の第4次中東戦争をきっかけに原油価格が上昇し、日本では物価が急激に上がって買いだめ騒動が起きました。この現象を何という？
- 問11 1949年に、日本人として初めてノーベル物理学賞を受賞した物理学者は誰？
- 問12 日本が戦後、急速な工業発展を遂げ、1960年代後半には国民総生産で世界第2位の経済大国となった時期のことを何という？
- 問13 日本の防衛を目的として発足した自衛隊が組織された年はいつ？
- 問14 1950年に勃発し、日本に特需景気をもたらした国際的な軍事衝突を何という？
- 問15 1960年に多くのアフリカ諸国が相次いで独立し、国際連合への加盟国が急増したことを何という？
- 問16 1951年に日本が主権を回復し、国際社会に復帰するために調印された条約の交渉にあたった当時の首相は誰？
- 問17 第二次世界大戦後の冷戦期、1949年に成立し東アジアの共産主義国家として台頭した国を何という？
- 問18 核兵器を持たず、作らず、持ち込ませないという原則を、国レベルの公的な決議として認めた日本の公的機関はどこ？
- 問19 1970年の大阪万博のメインテーマは何？
- 問20 朝鮮特需によって経済が急速に回復し、その後の日本が遂げた目覚ましい経済発展の期間を何という？

答え合わせ・解説

問1	答え バンドン	インドネシアのバンドンで開かれたアジア・アフリカ会議には、独立したばかりの国々を中心に29か国が参加しました。ここでは、大国の対立から距離を置き、発展途上国が連帯して平和を目指す姿勢が示されました。
問2	答え 自由民主党	1955年、鳩山一郎らの主導で自由党と日本民主党が合併し、自由民主党が結成されました。これに対抗して社会党も統一されたことで、自民党が圧倒的に強い「55年体制」と呼ばれる政治構造が完成しました。
問3	答え 吉田茂	吉田茂は内閣総理大臣として、アメリカを中心とする連合国との間でサンフランシスコ平和条約に調印しました。これにより日本は主権を回復し、国際社会への復帰を果たしました。
問4	答え 国勢調査	1947年に行われた国勢調査は、戦後の社会状況を正確に把握する役割を果たしました。この調査により、食糧難や住宅不足などの社会問題を解決するための政策が練られました。
問5	答え ASEAN	1967年、インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイの5か国によって「ASEAN（東南アジア諸国連合）」が結成されました。当初は反共的な側面もありましたが、次第に経済協力の枠組みとしての性格が強まりました。
問6	答え 貿易黒字	貿易黒字とは、外国への売上が支払いよりも多い状態を指します。日本は長年にわたり巨額の貿易黒字を記録し、世界経済の中で大きな存在感を示しました。しかし、この黒字の増大は、相手国の産業を圧迫し、政治的な反発や「貿易摩擦」を招く一因ともなりました。
問7	答え 環境庁	環境庁は、公害対策の総合的な調整と、自然環境の保護を目的として1971年に発足しました。それまでの各省庁に分散していた環境行政をまとめ、強力なリーダーシップで政策を進めるために設置されました。
問8	答え アメリカ軍	日本国内に駐留していたアメリカ軍は、食料や衣類、車両の修理などを日本の民間企業に発注しました。これにより、倒産寸前だった日本企業が息を吹き返し、国内経済が急激に活性化しました。
問9	答え 新興国	「新興国」は、民族的なアイデンティティを確立しながら、自国の経済発展や社会基盤の整備を目指しました。これらの国々は、冷戦下で米ソどちらかの陣営に加わらざるを得ない状況にありつつも、独自の発展を模索しました。人口や資源の多さを背景に、国際社会において無視できない勢力として成長しました。
問10	答え 狂乱物価	エネルギーを石油に頼っていた日本は大きな打撃を受け、物価が急上昇しました。生活必需品がなくなるという不安から、スーパーなどでトイレットペーパーなどを買い求める行列ができ、社会が混乱に陥りました。
問11	答え 湯川秀樹	湯川秀樹は原子核を構成する陽子や中性子を結びつける力（核力）を媒介する未知の粒子として「中間子」の存在を予言しました。この理論が後に実験で証明され、1949年に日本初のノーベル賞（物理学賞）を受賞しました。
問12	答え 高度経済成長	1950年代半ばから1970年代初頭にかけて、日本は鉄鋼・自動車・電気製品などの重化学工業を中心にめざましい発展を遂げました。この時期、国民総生産（GNP）は世界有数の規模に達しました。
問13	答え 1954年	警察予備隊や保安隊を経て、1954年に現在の自衛隊が正式に発足しました。自衛隊はあくまで専守防衛を原則としています。
問14	答え 朝鮮戦争	日本に駐留していたアメリカ軍が、戦地へ送る軍需物資や修繕の依頼を日本の企業へ大量に出しました。これを「朝鮮特需」と呼び、日本の製造業やサービス業は大きな利益を上げました。
問15	答え アフリカの年	1960年だけで17か国がヨーロッパ諸国の植民地から独立を達成しました。これにより国際連合における加盟国の数も大幅に増加し、アジアやアフリカの国々が国際政治において強い発言力を持つようになりました。
問16	答え 吉田茂	吉田茂は、戦後の日本で長期間首相を務め、サンフランシスコ平和会議に日本全権として出席しました。彼が調印したサンフランシスコ平和条約により、日本は主権を回復し、国際社会への復帰を果たしました。保守的な政治家として、経済復興を優先しアメリカとの協調を重視する「吉田ドクトリン」を打ち立てた人物です。
問17	答え 中華人民共和国	1949年、共産党が内戦に勝利して北京を首都とする中華人民共和国が成立しました。これにより東アジアの政治バランスが大きく変化し、冷戦構造が深まりました。
問18	答え 国会	1967年に佐藤栄作首相が示したこの基本方針は、後に国会で正式に決議され、日本の安全保障の重要な柱となりました。日本が核兵器に対する明確な姿勢を示すことで、周辺諸国との信頼醸成を図る目的がありました。
問19	答え 人類の進歩と調和	大阪万博が掲げた「人類の進歩と調和」というテーマは、科学技術の進歩が単なる効率化だけでなく、人々の心豊かな暮らしや世界の平和に貢献すべきであるというメッセージが込められています。シンボルとして太陽の塔が建てられ、当時の日本の先進的な技術や未来志向の姿勢が世界にアピールされました。
問20	答え 高度経済成長	1955年頃から1973年の石油危機まで、日本は年平均10%に近い高い経済成長率を維持しました。三種の神器（白黒テレビ、洗濯機、冷蔵庫）が普及し、人々の暮らしは大きく豊かになりました。